

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5  
環境保全の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

廃棄物対策課長 伊藤 耕

電話番号

0852-22-6173

事務事業の名称	事業者の3R推進事業	
目的	(1) 対象	事業者
	(2) 意図	廃棄物の排出量の削減、再生利用量増加に取り組んでもらう。
事業概要	県内における産業廃棄物の発生抑制や資源の循環利用を促進するため、産業廃棄物の発生の抑制、減量、リサイクルに係る施設及び設備を整備する事業者に対して、整備に要する事業費の1/3を補助する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 事業者に対する補助件数の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 補助実績件数/補助予定件数	実績値	66.7	33.4				
		達成率	-	33.4	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	25,000	70,000
うち一般財源 (千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 平成28年度の補助件数は1件であり、補助予定件数3件には届かなかった。
- 補助対象となるがれき破碎施設の多くは更新時期を迎えており(15年以上経過…設置数の約6割)、現在補助対象になっていない木くず破碎施設について更新需要が高まりつつある。  
(参考) 補助対象…県内で排出される特定の産業廃棄物(汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず等、鉤さい、ばいじん)の発生抑制、減量化、リサイクルに係る施設又は設備の整備事業
- 補助事業について、事業者には十分浸透していない状況がある。

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

- 本補助事業により、県内事業者が実施する産廃の排出抑制やリサイクルへの取り組みを支援してきたことにより、県内産廃の抑制、減量化に貢献してきた。
- 平成28年度には、これまで焼却・埋立処理されていた漁網を破碎・分別し、再資源化するための施設整備を助成する内容であり、県内の漁網のリサイクル化を図る新たな取り組みを支援することができた。

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- 依然として申請件数が補助予定件数3件に達していない。

	H25	H26	H27	H28
申請件数	2	0	2	1
採択件数	2	0	2	1

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 年度内に完了する事業を補助対象としているため、実施期間に限られている(募集期間から採択までが毎年一定ではなく、過去には5月以降に募集開始、8月に採択決定となる年度もあった。)
- 市町村・関係団体への通知、ホームページによる募集も行っているが、あまり効果がない。

### ③原因を解消するための「課題」

- 早期かつ定期的な募集を行うため、予算議決前より(前年度担当者による)準備を進める。
- 効果的な周知方法を検討する必要がある。
- 更新需要や対象施設など、事業者の補助事業に対するニーズを把握し、内容を検討する必要がある。

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 産業廃棄物業界及び事業者の実情をよく知る産業廃棄物協会を通して、効果的な周知(個別・多媒体)を依頼する。
- 事業者による3Rの取り組みを促進し、補助制度の活用を促すため、事業者に対しフォローアップ又はアンケートを行い、補助制度事務の改善や補助対象事業の見直しを進めていく。